

平成30年4月27日

横浜市教育委員会
教育長 鯉渕 信也 様

横浜市社会教育コーナー 指定管理者
特定非営利活動法人 横浜市民アクト
理事長 福島 伸枝



横浜市社会教育コーナー事業報告書等の提出について

横浜市社会教育コーナーの管理運営に係る管理運営報告書等を次のとおり提出いたします。

【提出書類】

- (1) 横浜市社会教育コーナー管理運営報告書
- (2) 横浜市社会教育コーナー保守管理維持管理報告書
- (3) 横浜市社会教育コーナー生涯学習事業（自主事業）報告書
- (4) 横浜市社会教育コーナー収支予算書兼決算書
- (5) 横浜市社会教育コーナー利用状況年間報告書

資料：利用者会議報告書並びに利用者アンケート集計結果

(1) 平成29年度横浜市社会教育コーナー管理運営報告書

事業対象施設 横浜市社会教育コーナー 横浜市磯子区磯子3-6-1-1

事業期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

管理運営団体 特定非営利活動法人 横浜市民アクト

1 生涯学習・地域活動団体（個人）へ安全・安心な場の提供

1) 開館日数：235日

休館日（原則毎月第1月曜日&年末年始 全20日）

衛生配管修繕工事のため休館（8月1日～10月31日 3カ月間）

2) 利用率・利用人数・利用コマ数（別紙：(5) 利用状況年間報告書）

3) 登録団体数：361団体（平成30年3月31日現在）

分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数
テニス	107	卓球	6	太極拳	21	ヨガ	3	体操	10
ダンス	35	踊り	4	武道	2	朗読	4	生花	2
詩吟	1	合唱	44	器楽	14	絵画	9	水彩画	14
書道	10	手工芸	8	ゲーム	1	外国語	8	俳句	5
歴史文学	1	パソコン	0	自治会	1	管理組合	9	健康福祉	2
地域市民活動	22	高齢者福祉	1	子育て支援	5	青少年育成	4	その他	8

成果：

① 利用率、利用者数増加への取組

- ・25年5月から実施している「利用希望日の1週間前に部屋等が空いていたら、利用団体が持っている予約コマ数に関係なくどの部屋でも利用可能」とした取組が定着してきている。
- ・26年7月より全施設において、1団体あたりの利用予約数を3コマから5コマへ増やした。
- ・利用率・利用者数増の取組を行っているが、登録団体数は、前年度より4団体減少。この理由としては、会員の高齢化により団体自体が解散したことが挙げられる。また、8月1日から10月31日の3カ月間、「衛生配管修繕工事」により休館したため、利用者は13,729人減少した。

② UR機構との連携強化

- ・当施設は、UR機構が管理する「磯子3丁目団地」1号棟の1階部分に設置されている。団地事務所や担当部署とコミュニケーションを図り、連絡等を密に行い、様々な対処をした。

③ 開館・閉館時間の厳守

- ・決まった時間の開館・閉館を職員（アルバイト含む）全員に意識徹底させ、コミュニケーション良く行った。また窓口では利用者の立場に立った分かりやすい受付案内に努めた。

④ 安全安心をモットーの施設運営

- ・安全、安心な利用をモットーに施設内の保全状況等をチェックし、計画的な修繕と業者による定期点検、清掃作業、併せて日頃の業務を通しての点検などに努めた。

⑤ 事務所内での情報の共有

- ・職員はローテーション勤務のため、普遍的な認識と情報の共有が必要となる。その解決のため、夜間アルバイトを含めた全員共通の日報、連絡帳の活用及び定期的な事務所会議の実施により、サービスのばらつきや不公平な対応防止に努めた。
- ・守秘義務の履行、個人情報保護の遵守、情報公開規定による適切な対応を心掛けた。

2 施設の防災・防犯対策

① 緊急時での対応

- ・緊急時、教委、消防・警察への連絡内容（対応マニュアル）を作成し事務所内に掲示。職員への周知を行なった。
- ・怪我人や病人、盗難等の発生時の対応もマニュアルを作成し、アルバイトを含め職員全員へ配布。その時慌てないために、定例会議などで周知確認を行った。また、救急救命訓練を実施し、AEDの使い方の確認などを行った。

② 館内平面図で確認

- ・消火設備や警報装置、避難経路の平面図を各部屋に掲示。年1回の防災訓練時の確認と併せ消火器の設置場所が直ぐ分るよう表示をしている。

③ 災害対策

- ・磯子区は海に近く地震等発生時に津波が発生する可能性がある。また遠距離からの利用者もあることなどから、有事の際の一時帰宅困難者対応も含め様々な情報を集めリーフレットにまとめている。
- ・地震等災害発生時の対応として、役割分担を明確にし、スムーズに避難誘導・消火活動に務められるよう防災訓練時に確認を行った。

3 生涯学習・社会教育に関する相談・コーディネート・情報提供

① 相談内容の特徴と取組

- ・市民個人に対し講師や団体・サークル、イベント、講座等の情報提供を行った。(29年度：68件)
- ・市内外の施設職員や中間支援機関（支援センター）など生涯学習関係職員から講師の紹介や事業プログラムの組み立て、会議の考え方や進め方などの相談も寄せられ対応してきた。(29年度：10件)
そうした相談から、研修会実施となった区が3件あった。
- ・「学校・地域コーディネータ」からの相談も昨年に引き続き実施した。(29年度実績：6件)
- ・29年度は、生涯学習文化財課と共に市内各区の生涯学習関係職員や中間支援組織の後方支援を行った。(29年度訪問区16区)
また、そうした実績から、各区が抱えている課題や現状の分析を行った。
- ・サークル団体情報提供の際、持ち帰ってゆっくり検討できる利用登録団体会員募集冊子が大変役に立っている。

② 相談カードの作成

- ・相談カードを作成し、それを毎月まとめ全員に回覧、相談内容とその対応内容等について情報共有した。
職員全員が同じ情報を持つことは無理でも、情報源を共有することは大切で今後も続けていきたい。

4 社会教育コーナーの評価・検証

① 利用者会議（別紙「平成 29 年度横浜市社会教育コーナー利用者会議報告書」参照）

- ・普段利用している登録団体の代表者による懇談会。ご利用の際気付いたことや利用者アンケートで出てきた問題についてお聞きし、今後の管理・運営に活かしていくことを目的に実施。
- ・参加団体同士の交流もあり、有意義な会議になっている。

② 利用者アンケート（別紙「利用者アンケート集計結果」参照）

- ・登録団体から施設の利用に関してご意見を頂き、管理運営に活かしていく事を目的に実施。

日程：11月2日（木）～12月27日（水）の間実施

回答数：81団体

頂いたご意見をまとめ、それに対する回答と共に館内に貼りだし周知した。

③ 事業アンケート

- ・事業（主に講座）実施の最後に受講者に向け実施。今後の事業開催に活かしていく事を目的に実施。
- ・会場・設定時間・（曜日）・講師・スタッフなど各項目と記述を含め記入いただける工夫をした。

④ ご意見箱の設置と窓口対応

- ・気軽にご意見が頂けるよう事務所窓口に設置、また利用報告書にも記入欄を作っている。
- ・窓口では相手が話しやすい雰囲気と簡潔にまた丁寧な対応を職員全員心掛け、相手に伝わる工夫をしている。

5 業務に関する研修

① 施設の管理運営に関する研修

- ・メンテナンス講習会：1名参加
- ・労務・経理研修：2名参加
- ・防災訓練：全員参加
- ・救命救急訓練：全員参加

② 個人情報保護に関する研修

実施日：11月6日（金）参加者：6人

テーマ：「個人情報保護に関する法律」・「横浜市個人情報の保護に関する条例」の確認、29年に改正される内容について注意点等を学ぶ、併せて「マイナンバー」の取り扱いについて

③ 生涯学習等に関する研修

- ・横浜市教委主催研修をはじめ、市民局の事業や各分野の定例会等多岐にわたり参加。今後の業務に活かせるよう職場内で情報の共有を行った。

(2) 平成 29 年度保守管理維持管理報告書

業務	頻度		備考	実施年月日	実施結果
設備建物維持管理 (建築・電気・消防設備)	1回/月	管理者点検	スタッフによる点検 (業者による点検月を除く)	別紙「設備点検記録表」のとおり	
	3回/年	定期点検	業者による点検	別紙「設備点検報告書」のとおり	
空調設備の清掃点検	1回/月	管理者点検	スタッフによる点検	別紙「設備点検記録表」のとおり	
	1回/3か月	定期点検	業者によるフィルターの清掃・点検	別紙「設備点検記録表」のとおり	
第一種特定製品点検 (空調設備・冷水機)	4回/年	管理者点検	フロン排出抑制法上の簡易点検 (管理者点検)	別紙「簡易点検チェックシート」のとおり	
消防用設備点検	2回/年	定期点検	消防法上定期点検	平成 29 年 5 月 8 日	異常なし
				平成 29 年 11 月 6 日	異常なし
自動ドア点検	2回/年	定期点検	自動ドア専門メンテナンス (法定点検)	平成 29 年 4 月 21 日	異常なし
				平成 29 年 11 月 10 日	異常なし
非常通報装置点検	2回/年	定期点検	専門メンテナンス	平成 29 年 5 月 8 日	異常なし
				平成 29 年 11 月 6 日	異常なし
防火対象物点検	1回/年	点検	消防法上必要書類一式点検及び館内点検	平成 29 年 5 月 8 日	異常なし
清掃業務	毎日	日常清掃	スタッフによる各部屋とトイレ・回廊等の清掃		
	1回/2か月	定期清掃	業者による清掃 床のワックス及び網戸・ガラス・換気扇等中心	平成 29 年 4 月 3 日・6 月 5 日・11 月 6 日 平成 30 年 1 月 8 日・3 月 5 日	
	1回/2か月	定期清掃	スタッフによる清掃 (業者による清掃月を除く)		
小破修繕	随時			下欄内訳のとおり	

小破修繕内訳					
対応月	内容		対応月	内容	
5 月	女子トイレ貯水タンク修繕		1 月	女子トイレ 2 箇所便器水漏れ修繕	
8 月	テレビリサイクル・外用蛇口取付		2 月	女子トイレ便器水漏れ修繕	
12 月	トレーニングルーム倉庫アームレバー修繕 研修室 B 窓ガラス修繕、男子更衣室換気扇修繕		3 月	卓球ネット、支柱セット取替 電話機・シュレッタ取替 HDD(ハードディスク)取替 玄関照明灯取替	

(3) 横浜市社会教育コーナー 生涯学習事業（自主事業）報告書

事業目標 1

生涯学習・社会教育に関する情報の受発信並びに相談コーディネートの充実を図る

① ホームページの充実

コーナー自主事業をはじめ市内を中心とした講座・イベントなどをはじめ、併せて関係する機関等の紹介も行った。

② メンバー募集冊子の作成&配布

活動団体の課題の一つに会員の減少がある。そうした団体の安定した運営を図る事を目的に登録団体にダイレクトメールを発送、希望団体の情報をまとめ「会員募集团体一覧」を700冊作成。磯子区内市民利用施設や18区の生涯学習支援センターへ配架と配布を依頼した結果、問い合わせが68件あった。また、社会福祉協議会より「地域活動サービスリスト」への掲載協力の依頼もあった。

③ メンバー募集情報のホームページ掲載

上記団体情報を冊子配布と併せ、社会教育コーナーホームページにも掲載し、周知の広がりをおねらった。ホームページを見ての問い合わせもあった。

④ 情報の集約

市内18区の生涯学習・市民活動支援センターや大学、施設、機関の定期発行物（リーフレット・情報紙・グループ情報誌・ボランティア講師情報誌など）を集約し配架、相談や情報提供に役立てた。

⑤ 館外掲示

団体のイベント・講座のチラシやポスターを道路わきの「掲示板」に貼り出し、コーナー横を通る人を館内へ誘致し情報の提供へつなげた。

⑥ メルマガ発行

横浜市内を中心に生涯学習関連のイベント・講座や活動に役立つ内容などの情報を収集し毎月定期的に発行。649件の登録がある。

⑦ 相談コーディネートの充実

・市民個人に対し講師や団体・サークル、イベント、講座等の情報提供を行った。(29年度：68件)

それに加え市内外の施設職員や中間支援機関（支援センター）など生涯学習関係職員から講師の紹介や事業プログラムの組み立て、会議の考え方や進め方などの相談も寄せられ対応してきた。(29年度：10件)

・27年度から学校を中心にして活動しているコーディネーターに対し、インターネットや電話での相談にも応じ、課題解決への道筋をつけた。(29年度実績：6件)

・29年度は、生涯学習文化財課と共に市内各区へ訪問するなど、生涯学習関係職員や中間支援組織の後方支援を行った。(29年度訪問区：16区)

また、そうした実績から、各区が抱えている課題や現状の分析を行った。

・サークル団体情報提供の際、持ち帰ってゆっくり検討できる会員募集冊子が大変役に立っている。

事業目標 2

学校教育・社会教育の人材育成の強化と支援の充実を図る

① 学校・地域コーディネーターのネットワーク

目的：学校・地域コーディネーター養成講座（市教委主催）修了生の活動現場での課題の共有、情報交換を定期的に行い、課題解決などを行う。

日程：4月～3月毎月第2水曜日 10：00～12：00（全11回）

参加人数：119人（延べ人数）

内容：活動している各校の取組状況の紹介、先進事例校の見学、活動に関して課題や悩みを相互に聞きあい解決への糸口を一緒に考えている。

成果：常時10人以上が参加し、活動が初めての方からの様々な質問に皆が丁寧に対応している。時には一緒に考える場もあり、ここでも仲間づくりが進んでいる。

課題：連絡会への参加人数が固定してきた。養成講座の報告会等で参加の呼びかけを今後も続けていく。

小学校と中学校ではコーディネーターの内容が異なるので、それぞれで連絡会を持ちたい。

② Yokohama 学校地域コーディネーター・フォーラム（共催：Yokoham 学校地域コーディネーター・フォーラム実行委員会）

目的：平成19年度から始まった学校・地域コーディネーターの活動を広く知ってもらうことを目的に地域（企業やNPOなど）と学校がつながり、子どもたちの学習支援を進める。

日程：9月9日（土）10：00～15：30

内容：教育支援プログラムを持っている企業 NPO 大学などと学校をつなぐプログラム見本市と交流会を行う。12団体（企業）のプログラムが揃い、活発な情報交換が行えた。

参加者数：180人

成果：学校・地域コーディネーター連絡会が母体となり実行委員会を立ち上げ開催した。会場はほどがや市民活動センター全体を使ったが、会場の広さの関係から12団体の出展団体となった。また、交流会では「地域協働プログラム」の事例発表を行い、参加者同士の活動の充実を図った。

③ 学校地域コーディネーターフォローアップ講座

目的：学校と地域を結ぶコーディネーター活動の充実

日程：8月31日（木）・9月9日（土）・11月1日（水）10：00～12：30（全3回）

内容：コーディネーターが、それぞれの学校で活動するときに役に立つ内容。先進事例校の見学等。

参加者数：60人（延べ人数）

成果：コーディネーターは、それぞれの学校で活動しているので、相談相手がいないことが多い。他校の状況を知り、課題の情報共有が図れ、社会的課題の学びあいができ、好評であった。

課題：学校地域コーディネーター養成講座修了生が対象のため、講座の周知が難しかった。

④ 保育ボランティア養成講座

目的：保育ボランティアのグループ化と母親の学習支援の充実

日程：5月30日（火）～6月27日（火）9：30～11：30（全5回）

対象：一般市民

参加者：10人

内容：ボランティア活動に必要な知識や技術のスキルアップや実習。

成果：目的である、ボランティアグループ「ダリア」ができ、少しずつグループで活動する楽しさを深めている。

課題：ボランティアの人数が少ないので、今後も継続的な育成が必要である。

⑤ 家庭教育学級ばんぷきん

目的：乳幼児を持つ親たちがつながり、共に子育てや社会的課題などについて学ぶとともに、社会参加の一歩とする。

日程：10月12日（木）～11月23日（木・祝）10：00～12：00（全5回）

対象：乳幼児を持つ親

参加者：18組

内容：テーマ「ママの気分転換タイム」～学びとりフレッシュ～

子育て中の親の支援という位置付けでの事業。内容は、子育てについての話し合いやおやつ作り、エアロビクスで体を動かし、気持ちをリフレッシュした。

*一時託児は新しくできた「保育ボランティアダリア」に依頼。

成果：18組の親子の参加があった。母親からは、子育て期に講座に参加し、生活に潤いが出たと好評であった。

子どもたちは、別室で保育者と一緒によく遊んだ。

事業目標3

横浜の読書活動を推進する

① 子どもの読書活動推進

・おはなし会ボランティア養成講座（共催：読書活動推進プロジェクト・後援：磯子図書館）

目的：学校や地域でおはなし会や読み聞かせの活動をしている人を対象に、基本的な考え方やスキルアップを図るとともに、仲間づくりにつなげる

日程：6月9日（金）～30日（金）（全4回）10：00～12：30

対象：学校や地域でおはなし会や読み聞かせをしている人

参加者数：37人

内容：おはなし会の意義、読み聞かせの実践、プログラムの作り方、情報交換会。

成果：学校で読み聞かせをしている人は、入れ替わりが激しいので、毎年養成講座が必要である。また、活動を継続している人にも学び直しの良い機会となっている。

・おはなし会ボランティア講演会（共催：読書活動推進プロジェクト・後援：磯子図書館）

目的：上記の養成講座ではおはなし会の基本を学び、講演会では読書活動に関わる内容を実施。今年も「さわださちこ氏」を招き、明るくて楽しい図書館づくりの工夫を学んだ。

日程：2月3日（土）10：00～12：30

対象：学校や地域で読書活動をしている人

参加者数：21人

内容：図書館のディスプレイの実践、本の紹介

成果：参加者の半数が学校図書館司書だった。直ぐにできて魅力的なディスプレイは好評であった。

・紙芝居講座（共催：読書活動推進プロジェクト・後援：磯子図書館）

目的：おはなし会や読み聞かせをしている人に紙芝居の歴史や演じ方の講習を行いスキルアップを図る。

日程：12月1日（金）・8日（金）10：00～12：30

対象：学校地域で読み聞かせをしている人、紙芝居に関心のある人

参加者：34人

内容：紙芝居の実演とワーク

成果：昨年まで1回の開催で同じ内容を行っていたが、今年は2回に分けて 絵本の読み聞かせと紙芝居の演じ方の違いや歴史を学ぶことで、今後の活動の幅が広がった。

② BOOKカフェ 大人の図書館

目的：成人の読書活動推進を目指し、新たな本との出会いと新たな演者の発掘。

日程：12月1日（土）14：00～16：00

対象：一般成人

参加者：16人

内容：テーマを「冬のはじまりに」とし、読み語りとおすすめの本を紹介し合うセッションを実施。

成果：大人向けに実施。おはなしの好きな大人が参加し定着してきた。

③ おはなしの国

目的：子ども達が本に触れるきっかけとして、またおはなしの国養成講座修了生や地域で活動している人達の実践の場。

日程：5月21日～3月18日（毎月第3土曜日）11：00～11：40（全11回）

対象：子どもから大人まで

参加者：285人（延べ人数）

内容：絵本の読み聞かせ、素話（ストーリーテリング）、紙芝居、手遊び・歌遊びなど

成果：3か月の休館中に磯子区子育て拠点で3回実施した結果、参加者が増加。子育て拠点にとっても、コーナーのおはなし会の団体が新鮮だった様子で、次年度も子育て拠点での開催を検討中。

今年、おはなしの国に協力してくれている10団体が次年度に向けてスキルアップを図る目的で交流会を開催した。

④ 大型絵本研究会

目的：現在保存している大型絵本の有効活用と利用啓発を図る

日程：4月～3月

対象：おはなし会や朗読会活動者

利用者数：1団体

内容：おはなし会や学校での活用

課題：内容がアジアの民話なので、日本の民話の紙芝居作成が必要である。

⑤ ブックトーク講座

目的：次年度にブックトークの講座を実施するきっかけとしてブックトークの基本を学ぶ。

日程：3月10日（土）9：00～13：00

対象：読み聞かせやおはなし会の経験者

参加者数：13人

内容：実演を交えながらブックトークの基本や子どもと本の出会いの機会をつくる工夫を学ぶ。

成果：6人のメンバーが残り、次年度へつながった。

⑥ 読書活動推進ボランティアあれこれセミナー

目的：地域でおはなし会を開催する時に注意する事や、継続していく工夫を学ぶ

日程：7月15日（土）13：15～15：15

対象：おはなし会出演者、読書活動推進プロジェクトメンバー

参加者数：3人

内容：人形劇ボランティアの話と実演の体験。

成果：学校中心での活動者が多い中、読書とは切り口が異なる人形劇の実際を学び、新たな気づきがあった。

課題：読書活動のボランティアの活動の幅や考え方を広げる目的で今回は人形劇について学ぶ研修会だったが、人形劇と自分達の活動の類似性に気が付かなかったためか参加者が少なかった。

⑦ 横浜の民話交流会

目的：市内で活動している紙芝居グループの口演会と交流会

日程：3月9日（金）

対象：一般市民

参加者数：66人

内容：市内各地の伝説や昔話を紙芝居にして活動しているグループの口演会と、交流会。

成果：定員を超える参加者が集まった。また、当日多くの区から伝説や昔話を題材にしたカルタ等の提供があった。

交流の機会をつくる

① おまつりだ！！

目的：近隣住民に社会教育コーナーを知ってもらう啓発事業

日程：4月29日（・祝）10：00～15：00

対象：子どもから大人まで

参加人数：1、352人

内容：主催事業の講師や磯子区内NPO等15団体と連携し、コーナー全館を使って「縁日ごっこ、人形劇、工作体験、フリーマーケット、みんなで歌おう、フォークソング演奏、」など実施。

成果：「いそっぴゴールデンウイーク」スタンプラリー（4月22日～5月7日）にも参加し、併行して集客を行ったことで、多くの参加につながった。

② いそっぴゴールデンウイーク スタンプラリー（主催：磯子区館長連絡会）

目的：区内の公共施設がつながってイベントを行うことで、区民に多くの施設を知ってもらい、また職員同士も情報交換等を行うことで、互いの関係性の構築を図る。

日程：4月22日（土）～5月7日（日）16日間

内容：施設を巡るスタンプラリーを実施。スタンプが4つ集まると粗品と交換できる。

参加者数：コーナーに来た人数 571人

成果：磯子区地図と期間内に開催する各施設のイベントが載ったチラシを大量に配布することで、普段利用の無い人の来館があり、「おまつりだ～」の周知もできた。

③ 大掃除&交流会

目的：登録団体が一緒に掃除を体験することによりお互いの活動を知るきっかけとする

日程：12月26日（月）10：00～12：30

対象：登録団体

参加人数：44人（20団体40人+アクト会員）

内容：前半は6～8人のグループで各部屋を掃除。（部屋の隅やブラインドなど）きめ細かく皆で力を合わせ実施。後半はお茶を飲みながらの交流タイム。

成果：普段、交流のない団体同士協力してコーナー全体の清掃を行うことにより、施設を大事に利用する意識の喚起と交流を図る。

④ 多文化交流カフェ（共催：おもいきり楽しい国際交流の会）

目的：異文化交流と外国の人の居場所づくり。

日程：7月1日（土）～3月3日（土）10：30～12：00（全5回）

対象：一般成人

参加人数：47人

内容：七夕飾り・非常食の試食・クリスマスカード作り・ひな祭り、お茶を楽しみながら話し合う。

課題：外国の人の参加が少ない。

⑤ 親子の広場（共催：ばばばる～ん）

目的：乳幼児を持つ親がつどい、子どもと一緒に遊びを通して交流する。

日程：5月～3月（毎月最終月曜日）10：30～11：30（全9回）

対象：乳幼児と保護者

参加人数：延べ156組の親子（延べ人数）

内容：広いトレーニングルームを利用し、親子一緒に歌遊びや手遊び、紙芝居や専門家による「食育」の話、また各季節の行事も盛り込んだ。（ハロウィン等）

成果：3か月の休館中、近隣の施設を使って、コーナーとは違った遊びの提供を行うことができた。

⑥ 横浜サンタプロジェクト

目的：企業・学生・NPOが連携してサンタになって横浜に笑顔を届ける。

日程：12月10日（土）12：00～16：00

対象：子どもから大人まで

参加者数：830人（サンタの人数）

内容：訪問サンタ（子どもの福祉施設）、清掃サンタ、ステージサンタ、ブースサンタ、ドライブサンタがあり、子ども達が主役になって一日を楽しむ。

成果：年ごとに参加するサンタが増えると同時に、広場での集客も1000人以上となっている。

⑦ 盆栽カフェ（共催：NPO法人アクションポート横浜・石井造園（株））

目的：小さな盆栽の楽しみ方を知り、参加者同士交流を深める。

日程：5月7日（日）～3月4日（日）13：30～16：30（全9回）

参加者数：114人（延べ人数）

内容：松ぼっくりの苔玉作りや寄せ植え等を体験しミニ盆栽を楽しむ。

成果：単発事業に関わらず、リピーターが多く、続けて受講しても楽しめる講座となった。親子での参加もあり、対象を広く考える視点をもたらした。

学習機会の提供

① はじめてのみずあそび

目的：乳幼児が安全にみずあそびを体験できるようボランティアのサポートのもと行い、併せて親同士の交流の場を図る。

日程：7月24日（月）・25日（火）11：00～11：40（全2回）

参加者数：21組の親子（延べ人数）

内容：プールを幾つか用意し、親子が水遊びを楽しんだ。家庭ではなかなかプール遊びができないので、安全に遊ぶ方法も伝えた。

成果：親同士が顔見知りになれた。

② ママフィットネス

目的：母親の健康づくり。子どもも同室で一緒に体操を楽しむ。

日程：4月19日～3月14「日（火）9：40～10：40（全12回）

参加者数：101組の親子（延べ人数）

内容：子どもと一緒に親が体操でリフレッシュする。柔軟体操とリズム体操を組み込んで楽しく自分の時間を過ごす。3回継続参加の場合、参加費用の割引を行うことで参加者の微増につながった。

成果：継続で参加する親子が多く、当コーナーで開催している「家庭教育学級ぱんぶきん」への導入となった。

③ 学習ルームパレット（共催：学習ルームパレット）

目的：学習障害を抱えたり、様々な理由で勉強が遅れている子どもの学習支援

日程：4月～3月 毎週木曜日（全47回） 15：00～19：00

参加者数：382人（延べ人数）

内容：小中学生徒の学習支援

成果：継続して、同じ場所での開催が子ども達が学習することへの担保となっている

④ 英語でトーク inISOGO (共催：おもいきり楽しい国際交流会)

目的：様々な国の出身者をゲストに迎え、母国の文化や習慣などを紹介してもらい、理解を深める。

日程：5月27日～7月22日(土) 10:00～12:15 (全3回)

参加者数：26人

内容：ルーマニア・ネパール・パナマの方々に、母国の紹介や日本での活動等をはなしてもらい、お茶とお菓子を戴きながら、英会話を楽しむ。

成果：リラックスした雰囲気の中、英語で話し合うことは、中級レベルで英語を話せる人には自分のステップアップになる。

他機関・団体等との協働

目的：コーナー事業を館内実施だけにとどまらず、広く各方面と繋がることでコーナーを知ってもらい一緒に事業をすることで、顔の見える関係も構築され業務に活かしていく。

① 横浜山手芸術祭

花と器のハーモニーや横浜山手芸術祭の各実行委員会に参加。事業の一端を担った。

② 磯子区内子育て支援ネットワーク

地域子育て拠点「いそピヨ」とこども家庭支援課が中心となり、テーマを基に定期的に話し合いなど行っている。顔の見える関係が進み、連携して地域別のイベント4か所での開催に協力した。

③ 読書活動推進プロジェクト

市内各地で、子どもの読書活動推進に関わっている人たちと協働して、おはなし会ボランティア養成講座、公開講座、学校図書ボランティア交流会、紙芝居講座等を開催。併せて養成講座修了生の「おななし会」デビューの支援も行った。

④ 学習ルームパレット

学習障害を抱え、もしくは様々な理由で学習が遅れている子どもの学習支援を社会的課題支援事業として位置づける。毎週実施し、学習の継続性を担保し、担い手育成の支援も行う。

⑤ 磯子区NPO連絡会

NPOのメンバーとの付き合いの中でコーナー事業への協力も多々あり、相互に情報交換していく中で理解も深まった。磯子区役所から事業の参画依頼(市民活動フォーラム)もあり今後も目的に沿った活動を進めていく。

⑥ 磯子図書館

例年さまざまな読書活動推進に絡み、磯子図書館の協力をお願いすることが多い中で今年度も養成講座をはじめ各講座の後援支援を受ける。関連本の貸し出しなどをスムーズに受けることができた。また、磯子図書館利用者懇談会の座長も務めている。

⑦ 横浜サンプラザプロジェクト

企業・学生・NPOとの連携を目的に12月のイベントに向け実行委員会に参加した。結果対外的にコーナーの紹介もでき、多くの方とも知り合えた。CSRを実施している企業と市民活動団体の集まりなので実行委員会内での情報共有も盛んに行われ、一部企業とは学校地域コーディネーター事業とも連携している。

⑧ 市内・区内の関係機関・団体

定例の磯子区館長連絡会や子育て支援ネットワークに参加、また「いそご区民活動支援センター」とは普段の相談対応とイベントや講師等の情報交換などで密接につながっている。その他団体主催事業などにも出かけた。今後も「つながり」を大切に業務に活かしていきたい。

社会教育コーナー事業の広報・周知

コーナーの事業を区内はもとより、市内の各種機関や施設に依頼して広く広報を行っている。今年度も事業内容により配布先にメリハリをつけて周知していった。また連絡会など顔を合わせる機会での周知や近隣施設などへは直接出向き配架並びに配布の依頼を丁寧に行った。今後も職員全員が動ける体制で臨みたい。

平成29年度 生涯学習事業(自主事業)一覧

事業分類	事業名	回数	時期	受講料(円)	対象	募集人数(人)	参加者数(人)	受講料収入(円)
学校教育・社会教育の人材育成の強化と充実	横浜学校・地域コーディネーター連絡会	11	4月～3月	0	養成講座 修了生	随意	119	0
	Yokohama 学校地域コーディネーター・フォーラム	1	9月9日	0	一般	随意	180	0
	学校地域コーディネーターフォローアップ講座	3	8月～11月	0	コーディネーター	各回30	60	0
	保育ボランティア養成講座	5	5月～6月	2,000	一般	15	10	20,000
	家庭教育学級ぱんぷきん(*1)	5	10月～11月	3000	未就学児の親	20組	18組	0
横浜の読書活動を推進する	おはなし会ボランティア養成講座(*2)	4	6月	1500	一般	30	37	20,100
	おはなし会ボランティア講演会(*3)	1	2月3日	1000	一般	50	21	
	紙芝居講座(*4)	2	12月1日・8日	1,000	一般	50	34	
	BOOKカフェ 大人の図書室(*5)	1	12月2日	200	一般	15	16	
	おはなしの国(*6)	11	5月～3月	0	大人から子どもまで	随意	285	0
	大型絵本研究会		4月～3月			随意	1組	0
	ブックトーク講座	1	3月10日	1,700	一般	30	13	22,100
	読書活動推進ボランティアあれこれセミナー	1	7月15日	200	一般		3	600
	横浜の民話交流会(紙芝居交流会)	1	3月9日		一般	30	66	0
交流の機会をつくる	おまつりだ!	1	4月29日	0	大人から子どもまで		1,352	14,956
	いそびゴールデンウィークスタンプラリー	16	4月22日～5月7日	0	大人から子どもまで		571	0
	大掃除&交流会	1	12月26日	0	登録団体	50	44	0
	多文化交流カフェ(*7)	5	7月～3月	100	一般		47	0
	親子の広場(*8)	9	5月～3月	150	乳幼児と親		156組	0
	横浜サンタプロジェクト	1	12月10日		一般		830	0
	盆栽カフェ(*9)	9	5月～3月	2,000	一般	135	114	20,000
学習機会の提供	はじめてのみずあそび(*10)	2	7月末	150	乳幼児と親	30組	21組	3,150
	ママフィットネス(*11)	12	4月～2月	1,000	未就学児と母親	各回13組	101組	98,200
	学習ルームパレット	47	4月～3月		小・中学生		382	0
	英語でトークinISOGO(*12)	3	5月～7月	3000	一般	30	26	8,384
計						参加者総計297組&4,216人	207,490	

*1は社会福祉協議会の補助金事業。運営委員会形式

*2・3・4・5・7・8・12は共催事業。収入は共催団体へ。事務費計上

*11は参加費割引あり

*6・10・11は社会福祉協議会補助金事業

*8は共催事業。収入は共催団体へ

*9の参加費は材料費。共催企業へ。事務費計上

平成29年度 「横浜市社会教育コーナー」 収支予算書兼決算書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	12,586,000		12,586,000	13,002,825	△ 416,825	横浜市より
利用料金収入	3,500,000		3,500,000	2,916,400	583,600	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	0		0	0	0	
自主事業収入	219,000		219,000	207,490	11,510	ふれあい助成金含む
雑入	300,000	0	300,000	185,124	114,876	
印刷代	220,000		220,000	128,954	91,046	コピー等
自動販売機手数料	75,000		75,000	54,670	20,330	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（シャワー）	5,000		5,000	1,500	3,500	シャワー
収入合計	16,605,000	0	16,605,000	16,311,839	293,161	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,980,000	0	10,980,000	12,009,502	△ 1,029,502	
給与・賃金			10,980,000	9,968,352	1,011,648	夜間スタッフ含む(事務局員除く)
社会保険料			0	1,358,760	△ 1,358,760	
通勤手当			0	655,440	△ 655,440	
健康診断費			0	26,950	△ 26,950	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	
退職給付引当金繰入額			0	0	0	
事務費	1,941,000	0	1,941,000	993,275	947,725	
旅費			1,941,000	20,970	1,920,030	
消耗品費			0	129,982	△ 129,982	
会議賄い費			0	0	0	
印刷製本費			0	184,918	△ 184,918	
通信費			0	117,083	△ 117,083	
使用料及び賃借料	0	0	0	59,400	△ 59,400	
横浜市への支払分			0	59,400	△ 59,400	自販機目的外使用・減免対象利用料戻入
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	9,800	△ 9,800	社会教育
施設賠償責任保険			0	57,886	△ 57,886	
職員等研修費			0	0	0	
振込手数料			0	16,596	△ 16,596	
リース料			0	365,040	△ 365,040	コピー機、リン リース
手数料			0	31,600	△ 31,600	広告掲載料
地域協力費			0	0	0	
事業費	350,000	0	350,000	461,248	△ 111,248	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費			0	0	0	
自主事業費	350,000		350,000	461,248	△ 111,248	HP管理費含
管理費	2,686,000	0	2,686,000	2,758,789	△ 72,789	
光熱水費	2,386,000	0	2,386,000	1,239,976	1,146,024	
電気料金			2,386,000	1,211,551	1,174,449	
ガス料金			0	10,317	△ 10,317	
水道料金			0	18,108	△ 18,108	
清掃費			0	846,569	△ 846,569	
修繕費	300,000		300,000	336,700	△ 36,700	
機械警備費			0	142,560	△ 142,560	設備総合巡視点検業務委託費(総合警備保障)
設備保全費	0	0	0	167,400	△ 167,400	
空調衛生設備保守			0	48,600	△ 48,600	建物設備点検
消防設備保守			0	79,920	△ 79,920	
電気設備保守			0	38,880	△ 38,880	自動ドア
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費			0	0	0	
共益費			0	25,584	△ 25,584	共益費・共用物使用割賦金
公租公課	648,000	0	648,000	0	648,000	
事業所税			0	0	0	未確定
消費税	648,000		648,000	0	648,000	未確定
印紙税			0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ズ対応費			0	89,025	△ 89,025	新聞・ピアノ調律等
支出合計	16,605,000	0	16,605,000	16,311,839	293,161	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				207,490		
自主事業費支出				461,248		
自主事業収支				△ 253,758		
管理許可・目的外使用許可収入				54,670		
管理許可・目的外使用許可支出				59,400		
管理許可・目的外使用許可収支				△ 4,730		

平成29年度利用料金収入

単位：円

	月	研修室A/B	研修室C	アートルーム	トレーニングルーム	スポーツ広場	付帯設備	返金	計	累計
一般利用	4月	56,800	40,000	72,000	87,200	42,500	14,100	3,900	308,700	308,700
	5月	58,200	45,000	83,200	92,000	52,100	13,200	4,000	339,700	648,400
	6月	25,800	20,000	4,800	40,800	31,000	2,400	3,300	121,500	769,900
	7月	19,200	3,000	4,800	20,000	9,900	1,700	5,400	53,200	823,100
	8月	0	0	0	0	0	0	0	0	823,100
	9月	24,000	21,000	36,800	52,000	8,800	5,700	0	148,300	971,400
	10月	24,000	13,000	28,800	28,800	8,800	6,000	0	109,400	1,080,800
	11月	78,600	80,000	105,600	135,200	79,000	14,400	0	492,800	1,573,600
	12月	55,200	42,000	84,800	96,000	33,700	24,900	1,350	335,250	1,908,850
	1月	40,800	40,000	64,000	88,000	48,200	6,900	1,450	286,450	2,195,300
	2月	57,600	43,000	62,400	75,200	49,400	18,200	200	305,600	2,500,900
	3月	78,600	48,000	100,800	88,800	50,800	48,500	0	415,500	2,916,400
	計	518,800	395,000	648,000	804,000	414,200	156,000	19600	2,916,400	2,916,400

(5) 平成29年度横浜市社会教育コーナー利用状況年間報告書

部屋別及び時間帯別

		研修室 A	研修室 B	研修室 C	アート ルーム	トレー ニング ルーム	交流ス ペース	スポー ツ広場	合計	午前	午後	夜間	合計
利用人数 (単位:人)	本年	4,218	3,480	3,833	7,353	9,709	2,422	2,042	33,057	16,362	11,861	4,834	33,057
	前年	6,537	5,304	5,230	10,052	13,709	3,069	2,885	46,786	22,697	17,635	6,454	46,786
利用コマ数	本年	279	253	428	385	1,009	315	443	3,112	1,442	1,154	516	3,112
	前年	423	393	540	538	1,340	452	636	4,322	1,988	1,643	691	4,322
総コマ数(29年度)		720	720	720	720	1,440	720	896	5,936	2,236	2,244	1,456	5,936
利用率	本年	38.8%	35.1%	59.4%	53.5%	70.1%	43.8%	49.4%	52.4%	64.5%	51.4%	35.4%	52.4%
	前年	43.6%	40.5%	55.7%	55.5%	69.1%	46.6%	52.4%	54.0%	65.7%	54.4%	35.3%	54.0%
利用率前年対比		66.0%	64.4%	79.3%	71.6%	75.3%	69.7%	69.7%	72.0%	72.5%	70.2%	74.7%	72.0%

月別合計数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数 (単位:人)	本年	4,779	2,950	3,936	3,891	0	0	0	3,719	3,460	3,171	3,487	3,664	33,057
	前年	4,671	3,453	4,331	4,397	3,531	4,906	4,090	3,925	2,990	2,950	4,002	3,540	46,786
利用コマ数 (※1)	本年	349 (260)	328 (250)	354 (279)	391 (283)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	354 (309)	317 (244)	327 (251)	343 (258)	349 (290)	3,112 (2,424)
	前年	355 (266)	368 (258)	386 (293)	398 (278)	341 (244)	381 (302)	360 (279)	359 (310)	324 (244)	320 (241)	355 (265)	375 (316)	4,322 (3,296)
総コマ数(29年度)		671 (492)	679 (492)	677 (498)	699 (504)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	669 (486)	612 (438)	611 (444)	629 (456)	689 (510)	5,936 (4,320)

※1: ()内数字は研修室A~C・アートルーム・トレーニングルーム5部屋分のコマ数

利用率 (※2)	本年	52.8%	50.8%	56.0%	56.2%	0.0%	0.0%	0.0%	63.6%	55.7%	56.5%	56.6%	56.9%	56.1%
	前年	54.1%	52.4%	58.8%	55.2%	47.8%	62.1%	55.4%	56.6%	55.7%	54.3%	58.1%	56.7%	55.6%
利用率前年対比		97.7%	96.9%	95.2%	101.8%	0.0%	0.0%	0.0%	99.7%	100.0%	104.1%	97.4%	91.8%	73.5%

※2: 利用率は研修室A~C・アートルーム・トレーニングルーム5部屋分となります。上記「月別合計数」表内の()内数字で計算

利用率向上への取組

・全施設の利用コマ数を3から5に増やした。併せて、利用希望日の1週間前に部屋が空いていたなら、予約コマ数に関係なく利用可能とした。

平成 29 年度 横浜市社会教育コーナー利用者会議

日時：平成 30 年 2 月 27 日（火）午後 2 時～3 時 30 分

会場：横浜市社会教育コーナー研修室 C

出席者：声のサロン：竹内・森 アンサンブルプリュサン：藤野 健康体操男会：山本
ホッピー仙人テニスクラブ：熊切
アクト：福島・高橋

1 挨拶 横浜市社会教育コーナー 福島

2 報告 横浜市社会教育コーナーについて
利用者アンケート結果、アンケートへの回答
施設管理・保安状況について
29 年度事業計画について

3 アンケートや施設管理、事業について

利用者：アンケートの中に、エアコンが上手く使えないとあるが、使用説明書を貼りだせばいいのではないか

事務所：説明書を貼りだして解決する問題ではないと思われるが、今後用意していきます

利用者：アンケートの中で、CD ラジカセが壊れたら補充しないとあるが、本当か？

事務所：備品等、壊れた場合できるだけ早く新品と取り換えています

利用者：テニスネットの S 字フックが壊れているので、直してください

利用者：会場の申し込みで、2 枠続けて申込みができるのが 2 週間前というのは、予定が立てにくく、不便だ。できればもっと早くから申込みができるようにして欲しい

事務所：できるだけ、どなたにでも公平にご利用いただくためのシステムです。ご理解をおねがいします。特に合唱関係の団体は、発表会が近付くと長時間の練習時間を希望されますが・・・

利用者：会場申込みを電話での仮予約をした場合、支払いは 1 週間以内となっている。メンバー全員の住所が遠いので、支払い手続きを利用当日もしくは、銀行等の振り込みができれば、便利なのですが、如何なものか

事務所：支払いを利用当日にした場合、仮予約期間中他の団体が申込みができなくなるので、1 週間以内での支払い手続きにしてあります。銀行等を使つての振込方法については手数料が発生しますが、考えさせてください。

事務所：トレーニングルームのブラインドの一部が短くなっていて、卓球グループから、「光が入ってきてプレイしにくい」、全て床までの長いブラインドに変更して欲しい旨アンケートにあるが、長いブラインドは傷みが早く、管理するのに費用が掛かる。ご理解をお願いしたい。

4 意見交換

事務所：このところ、利用団体の高齢化が進んでいる。コーナーでも若い人達に参加いただけるような事業展開を考えているが、何かご意見は頂けますか。

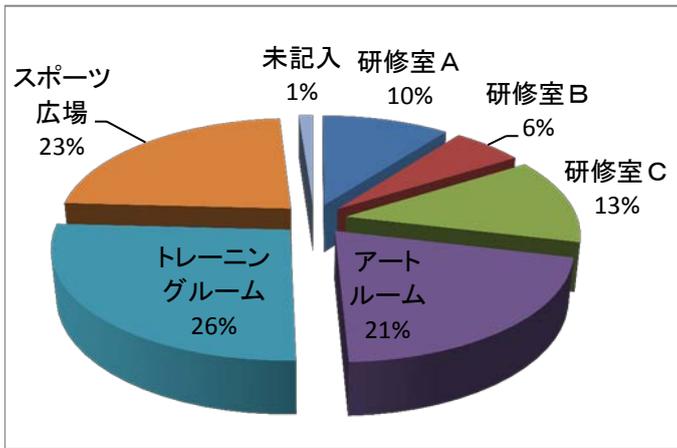
また、施設管理に関してもご意見をください

利用者：今年は3か月の休館があり、その間他の施設を利用していた。しかし、使い慣れたコーナーがやはりいいとメンバーが言っていた

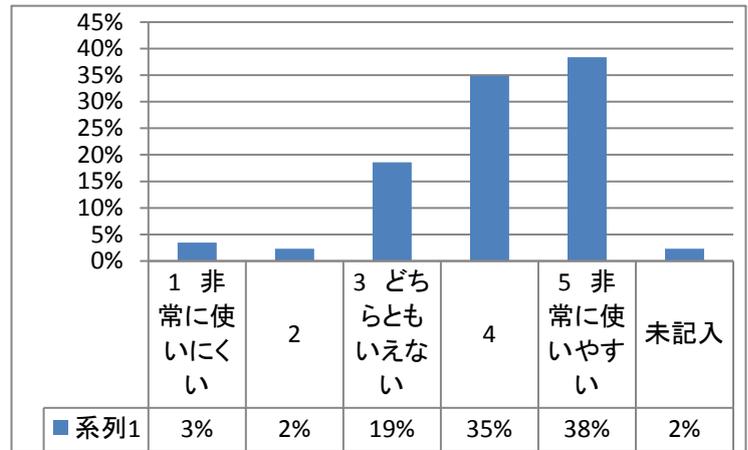
利用者：団体メンバーが減少し、今コーナーに協力を仰いで、メンバーを集める工夫をして行く段取りになっている。感謝

利用者アンケート集計結果

1. いつも利用される部屋はどこですか。



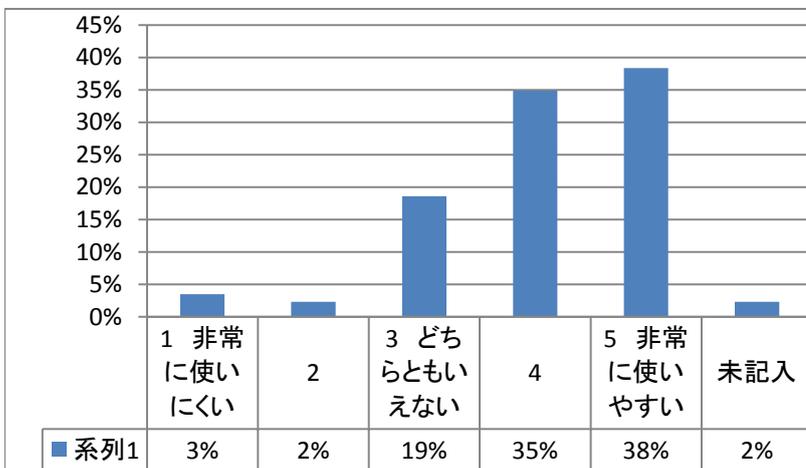
2. 施設の使いやすさはいかがですか。また、気になるところはありますか。



【施設の気になるところ】

- * 良いところピアノの音程が正確になった。
- * トレーニングルームの床が冷たいので冬はつらいです。
- * トレーニングルームのブラインドを光が入らない様に下までとどく様にしていきたい。
- * 隣の音が気になることがある。 * トイレが寒いです。あとはいつも感謝しております
- * テニスコートのひび割れがあり、靴のエッジがひっかかり転倒しそうになる。
- * スポーツ広場のコートレイアウトが悪く、サーフェイスが狭く老朽化とボールが古い。(3件)
- * スポーツ広場から見える時計が若干ずれている。テニスコートのひび割れ。
- * デスク、イス等が重すぎる。 絵を並べる台があるとよい。(絵が並べ合評会をするがテーブルに並べるのが困難)
- * アートルームのピアノが壁にくっついているので、音が良く響かない。
- * アートルームのエアコンがうまくあつかえない。(2件) * アートルーム倉庫の利用について検討してほしい。

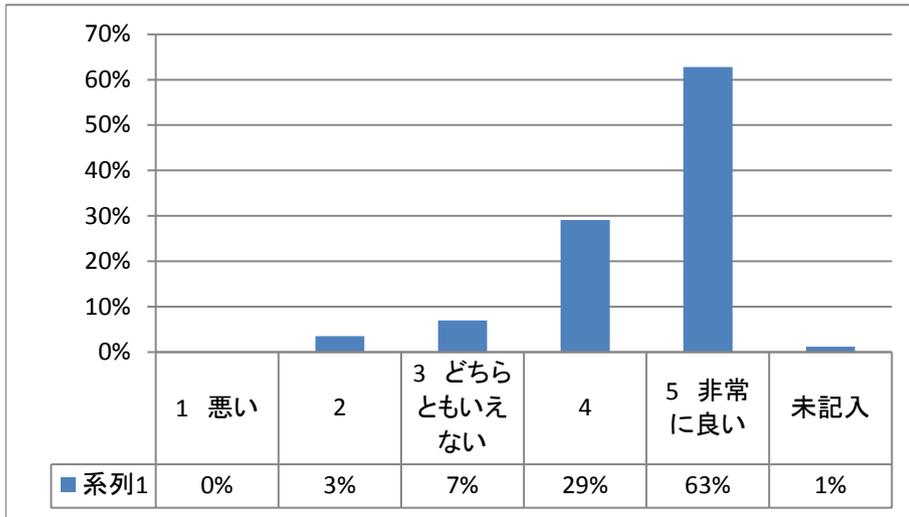
3. 利用する際の手続きや申請の方法などはいかがですか。



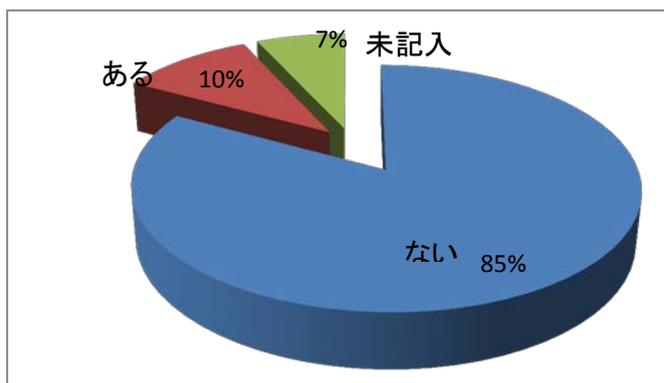
4. 付帯設備（ピアノ・ラジカセ・イーゼル・卓球台等）のご利用時、気になることはありますか。

- * CDラジカセがこわれてしまったら、補充しないうわさを聞いて心配しています。
- * 研修室のテレビをお借りする予定がコードが用意できず、プロジェクターをお借りするなど、急な事にも対応してもらえて助かりました。
- * イーゼル・モチーフ台とても良いです。
- * イーゼル、画板使用ができ大変助かっています。画材の整理は意見を聞いてください。
- * トレーニングルームのピアノ、譜面台があつかいにくい。
- * ピアノの調律に感謝。 ピアノの移動ができると嬉しいです。

5. 窓口での対応はいかがですか。



6. 社会教育コーナー主催の講座に参加したことがありますか。



【講座名】

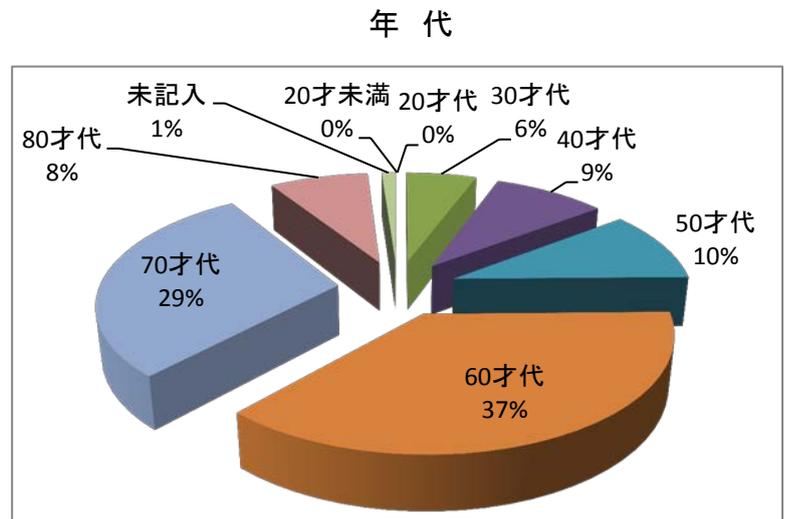
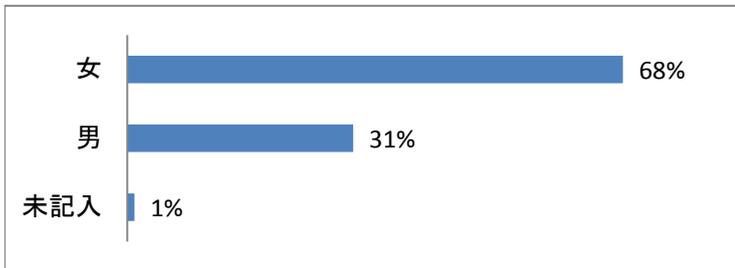
- ミニ盆栽
- 映画音楽を歌おう
- 筆ペン
- 水彩画
- おとなのフォークング部

7. その他、当施設についてご意見・感想がありましたらお書きください。

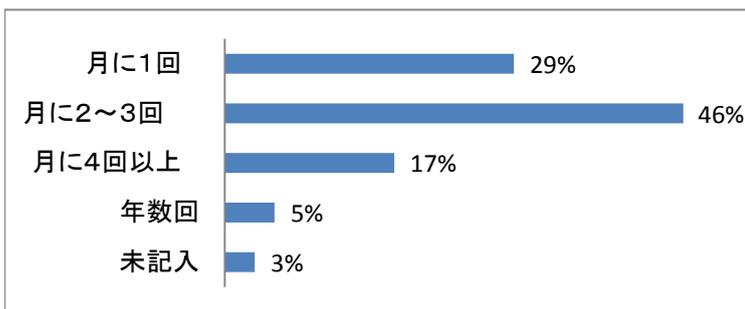
- * いつも利用させていただき、大変お世話になっています。ありがとうございます。(4件)
- * 窓口スタッフが親切で良い。(4件)
- * 長年お世話になり、今後もよろしくお願ひ申し上げます。
- * 交流コーナーを便利に利用させて頂いております。
- * カセットデッキ等が具合が悪い時があり、チェックをお願いします。
- * 夕方、教室をとりにくることが多いですが、対応がとても良いです。
- * 時間内に片付けをしているのですが、次の方がドアをあけてのぞいたりがあるので、交代の時に窓口の方が誘導してもらえるとありがたいです。
- * 空き室2ヶ所目の利用が1週間前からというのは不便。
- * 毎月第〇〇曜日など、定期利用を考えていただけたらと良いと思います。(3ヵ月、6ヶ月という予約方法があるとチラシ等広告がしやすい)
- * 書道(椅子がひくい、書きにくい)
- * テニスコートがとりにくい
- * 料金支払い期日、使用当日がよい。
- * 少人数でA・B室はもったいないと思います。
- * ブラインドの件、是非よろしくお願ひします。
- * ゴミ箱がないこと
- * トイレの改修
- * 利用者から問題提起があった場合は、分かりやすく説明してください。

回答者情報

86の利用団体にアンケートのご協力をいただきました



施設利用回数



お住まい

